

# 学校だより

## 雨の日も安全にすごそう!



休み時間になると、運動場に出て、元気よく駆け回る今川の子どもたち。でも、運動場が使えない時にも教室や廊下で追いかけて遊ぶというのは、室内での過ごし方としては考えものです。間もなく梅雨入りを迎えますが、雨の日の過ごし方について話し合い、教室の中で安全に過ごせるように指導してまいります。この時期に教室で過ごす時間を利用して、多くの本に親しんでほしいと思います。

## 「一つのことに一流になれ」～自分だけの輝きを見つけよう～

新緑の青葉がまぶしく、初夏の爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。新しい学年がスタートして2ヶ月。子どもたちは新しいクラスや担任にもすっかり慣れ、毎日元気に学校生活を送っています。5月は、校外学習やスポーツテスト、防災学習など、様々な行事を通して子どもたちの弾けるような笑顔と、ひと回り大きくなった姿を見ることができ、たいへんうれしく思っております。

さて、学校生活に慣れてきたこの時期だからこそ、子どもたちに伝えたい言葉があります。私が大学生時代にアメリカンフットボールをしていた関係で書きますが、かつて京都大学のアメリカンフットボール部を日本一に導いた名将、水野弥一監督の言葉です。

### 「何でもいから、一つのことに一流になれ」

この言葉は、「勉強もスポーツも、すべて完璧にできなければならない」という意味ではありません。むしろ逆です。「勉強は少し苦手だけれど、生き物の世話なら誰にも負けない」「足は遅いけれど、毎日休まず挨拶をすることは続けられる」「本を読むことが大好きで、図書室の本を誰よりもたくさん読んでいる」どんなに小さなことでも構いません。自分が「これだ!」と思ったこと、好きなこと、これなら続けられると思うものを一つ見つけ、それをとことん極めてほしいという意味が込められています。

### 一つの自信が、すべての力に変わる

人間、すべての分野で完璧になることは不可能です。しかし、「これだけは誰にも負けない」「これを行っている時は自分が輝いている」というものが一つでもあると、それは子どもたちの大きな「自信」という根っこになります。根っこが深く、強く張っていれば、たとえ他のことで壁にぶつかったり、失敗したりしても、簡単に心が折れることはありません。「自分にはあの強みがあるから大丈夫」と、次のステップへ挑戦するエネルギーが湧いてくるのです。一つのことで培った集中力や努力の仕方は、不思議と他の勉強や生活面にも良い影響を与えていきます。5月末を迎え、少しずつ学校生活の疲れが出たり、中だるみを感じたりする時期でもあります。だからこそ、今一度、自分自身の「キラリと光る一番の強み」を見つめ直してほしいと願っています。

子どもたちが「一つのことに一流」になるためには、周りの大人の見守り方がとても大切です。ついつい「あれもこれも」と平均的にできるようになることを求めてしまいがちですが、まずは子どもが夢中になっていること、得意なことに目を向け、「それって本当に素敵だね」「そこまで続けられるのは一流だよ」と、認めて褒めてあげてください。

学校でも、一人ひとりの子どもたちが自分だけの「一流」を見つけ、自信を持って伸ばしていけるよう、職員一同、温かく伴走してまいります。ご家庭でも、お子様の「キラリと光る一番」をぜひ一緒に探してみてください。

校長 吉川 秀樹

## 【校内研究授業実施に伴う下校時刻変更のお知らせ(再度)】

日程	対象学年	下校時刻
6月10日(水)	1・2・3・4・6年生	(給食後下校) <u>13時30分ごろ下校</u>
	5年生	(通常通り) 14時40分ごろ下校
7月1日(水)	1・2・3・4・5年生	(給食後下校) <u>13時30分ごろ下校</u>
	6年生	(通常通り) 14時40分ごろ下校